



亀中だより

No.28 令和7年11月7日 文責 岡田



For The Students!

「みんなはもうすでに、 とっても幸せだよ」



Yuto Miyamura

10月28日、世界的スノーボーダーの宮村結斗さんが、全校生徒を対象に講演をしてくださいました。宮村さんは2025年にアメリカで開催されたビッグエアのワールドカップで3位に入賞した日本期待の選手です。そしてなんとこの亀山中学校の卒業生なのです。今は、来年2月から開催される2026年ミラノ・コルティナ冬季オリンピックの代表選考の真最中ですが、一時帰国したこの機会に本校を訪れてくれました。

見出しの言葉は、宮村さんが、講演の中でみんなに伝えたいこととして、示された言葉です。宮村さんは、「運がいいとはどんな人のことをいうんだろう」と投げかけられ、「交通事故にあっても助かることができた」「蛇口をひねればいつでも飲める水がある」などを例として挙げられながら、実はみんなはすでに幸せなんだとお話されました。「当たり前感謝できる心」が幸せを感じる事となるだろうし、宮村さんがそんな心を持ちながら、選手生活を送っていることで支援者が集まり、今の活躍につながっているのでしょうね。



大ファンの中山先生と

亀山中学校へ

宮村結斗 2025/11/28

またこの日は、これまた本校の卒業生である宮村さんのお母さんも一緒に来校してくださいました。宮村さんの活躍の陰には、ご両親をはじめとするご家族の支えがとても大きかったのです。宮村さんは小学校低学年のころからスノーボードをはじめ、5,6年生のころから本格的に大会にも出場するようになりました。そのころからご両親は主な練習場所である大阪まで毎日のように送り迎えをして、宮村さんの活動を支えられてきたそうです。学校の授業を終えて帰宅した宮村さんは、お母さんの作ったお弁当を食べながら大阪まで移動、練習が終わって疲れて眠る宮村さんを車に乗せて、運転して帰ってくるという生活をご両親は毎日のように重ねられたそうです。ご両親にも拍手ですね。

金メダルをかけて凱旋してくれることを期待して応援しましょう!